

山口県 人・農地プラン作成事例

萩市

地区の農業は中心経営体 3 組織が引っ張る！

プラン名	吉部下地区（麻生・三戸原・鍛冶屋・志和田集落）人・農地プラン
プラン範囲	萩市 吉部下地区 該当集落（麻生、三戸原、鍛冶屋、志和田）
プラン決定日	平成 24 年 10 月 9 日
中心経営体	農事組合法人むつみ（構成員 30 人）、有限会社 2（小野養豚 自然農園ノム） 農地集積面積：現状(H23)59.24ha、将来(H28)59.24ha、農地集積率：84.2%
連携農業者	0 人、提供予定農地面積 0ha
今後の地域農業のあり方	複合化、6 次産業化、高付加価値化、新規就農の促進、その他(耕畜連携) コメント：法人むつみ、自然農園ノム、小野養豚が各々分担して実施

1 取組経緯

- ◆ 麻生・三戸原、鍛冶屋、志和田の各集落では、中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる。
- ◆ (農)むつみは、この 4 集落の農地 54ha を一手に引き受けて営農している。
- ◆ 有限会社 1 社(小野養豚)にスーパー L 資金の借入予定があった。

2 プランの特徴等

- 地区内の主要な農業生産組織がすべて参加している。
- 養豚副産物を活用した堆肥は地区内の全農地に還元され、土作りに役立てられている。

3 プランの取組効果

- ◇ 小野養豚では、スーパー L 資金を借入し、販路拡大を目指した活動をするとともに、より品質の高い堆肥の生産にも取り組んでいる。
- ◇ 地区内の耕畜連携活動の強化が図られた。
- ◇ 地区の水田の 84% が中心経営体に集積済みで、将来が安心である。
- ◇ 隣接集落でもプラン作成機運が高まってきている。



中心経営体：(農)むつみの皆さん



(有)小野養豚による堆肥散布